



こんにちは。トリプルアイズ広報の白石です。
いつもお読みいただきありがとうございます。

立春もすぎ、日中は暖かく感じる日も増えてきましたね。

緊急事態宣言の延長が決まり、引き続きコロナ対策を意識した生活がつづきます。東京都の調査によると1月のテレワーク導入率（都内企業）は57.1%だそうです。昨年と比べて上昇傾向にはあるものの、4割以上の企業ではテレワークが難しい状況がうかがえます。

「テレワークができない職場へ今日も出勤する、皆様の安全を守りたい！」

そんな思いからトリプルアイズは2月12日（金）よりキャンペーンを実施することとなりました。

なんと、なんとトリプルアイズが **50台限定でAI自動検温機をプレゼントします！**

(<https://aize.jp/campaign-20210212/>)

導入費用もあわせて総額1,424万円分を支援になります。

スーパーマーケットや医療機関、レストランや工場、その他テレワークが難しい職場や店舗へ機器代無料・初期費用無料で設置いたします。長引くコロナ禍、いまこそ一人でも多くの方にAIの効果を感じていただく機会になりますように、私たちはコロナでもぜったい休めない人たちを全力で応援します！

話はかわりまして2月のイベントといえば節分・（今年から）天皇誕生日・バレンタイン！

コロナ禍で迎えるバレンタイン、例年とちがう点はあるのでしょうか？

今回は「コロナ禍でのバレンタイン商戦！ 衰退する義理チョコとネットショップへの移行」と題してお届けします。

-----<目次>-----

1. コロナ禍でのバレンタイン商戦！ 衰退する義理チョコとネットショップへの移行
2. 50台限定でAI自動検温機をプレゼントキャンペーン実施
3. 「テクノロジー・ファーストセミナー」大盛況につき御礼申し上げます。

-
1. コロナ禍でのバレンタイン商戦！ 衰退する義理チョコとネットショップへの移行



2月14日は、バレンタインデー。

世界各地で「恋人たちの日」として祝われており、日本でも女性が男性にチョコレートを贈る日として知られています。この「女性から男性へチョコレートを贈る」という風習は日本独自の文化だというのは有名な話ですね。

近年では女性から（本命・義理ふくめ）男性にチョコレートを渡すだけでなく、友だち同士でチョコレートを交換する「友チョコ」や、ちょっと高価なチョコレートを自分用に買う「ご褒美チョコ」といったスタイルもスタンダードになってきました。

新型コロナウイルスの流行で今年は人とリアルで会う機会がぐんと減少しました。その結果チョコレートの売れ行きはどう変わのでしょうか。

松屋銀座が実施した「2021年バレンタインに関する女性の意識調査」によると、バレンタインチョコレートを購入する（自分用含む）割合は95.2%と、ほとんどの消費者が購入予定です。

しかし贈り先の内訳は大きく変わっています。まず、義理チョコの低迷です。調査によると義理チョコを「減らす」「買わない」という消費者が全体の4割を占めています。一方で自分用のご褒美チョコを「買う」という消費者は6割にのびります。これは「在宅勤務で会う機会がなくなって義理チョコが減る分、自分用に買う人が増えるだろう」と分析されています。コロナによって義理チョコ文化の衰退が進みそうですね。

チョコレートを受け取る男性の中にも「職場の女性からチョコをもらえてうれしい！」という声もあれば、「お返しに困るから会社での義理チョコは困る…」という声も聞かれるなど、その意見はさまざまです。皆さんはどちらでしょうか？

また販売方法が実店舗からネットショップへシフトするのも大きな変化です。松屋銀座ではここ数年実施してい

なかったネット販売へ軸を移しました。高島屋はリモート飲み会でも画面上で映えるチョコ、在宅勤務時のお供にもなるチョコ、ネット限定チョコなどラインナップを充実させています。

このように新型コロナウイルスの影響で実店舗からネットショップへ軸を移す企業が増えていますね。EC サイトや Web サイトの構築・運用ができる技術者がますます重宝されることでしょう。

最後は脱線してしまいました。皆さんもぜひ一度、松屋銀座・高島屋のバレンタイン特集サイトをのぞいてください。魅力的なチョコレートが並んでいます。今年のバレンタイン、自分用もしくは大切な人に贈られてみてはいかがでしょうか？

サイト URL 松屋銀座：<https://www.matsuya.com/ginza/events/2021/0104/valentine/>
高島屋：<https://www.takashimaya.co.jp/shopping/gift/valentinesday/>

2. 50 台限定で AI 自動検温機をプレゼントキャンペーン実施



2021年2月12日（金）、AI 顔認証機能を持つ自動検温機「AIZE Biz+（アイズビズ・プラス）」の導入費無料キャンペーンを開始します。

「ぜったいに休めない人たちを守りたい」という思いから、コロナ禍においてもリモートワークが困難な業種で従業員の方々に安心して働いていただくために、自動検温機 50 台を機器代・初期費用など総額 1,424 万円分を無償提供するというものです。

緊急事態宣言を受け、国や行政からはリモートワークが奨励されています。しかし、実際にはリモートワークが不可能で職場や現場への出勤を余儀なくされている人が大勢います。

例えば、病院・介護施設をはじめ流通業・製造業・飲食業・サービス業といった業種は、地域社会に欠かせない重要な生活インフラであり、そこで働く方々は、リモートワークでの勤務が困難で職場における感染リスクに晒されています。

こうした、「ぜったいに休めない人たち」を最新のテクノロジーでサポートするのが今回のキャンペーンの目的です。

「お客様に不自由なく暮らしてもらいたい」「コロナ感染の心配をしないで仕事がしたい」

—そんな思いをトリプルアイズは全力で応援します。

詳細は、キャンペーン予告ページをご確認ください。

<https://aize.jp/campaign-20210212/>

3. 「第2回テクノロジー・ファーストセミナー」ハイライト紹介



去る1月28日（木）、弊社代表・福原智による第2回AI講演会がオンラインで開催されました。

今回は、ディープラーニングとは一体どういう仕組みになっているのか、web上のシミュレーターを使って詳しく解説いたしました。AIが実際にディープラーニングによって画像を認識する様子をリアルタイムでビジュアル化し、「中間層」や「勾配」「誤差逆伝播」「ノイズ」といったタームの理解が深まりました。

また、藤澤由士執行役員からは、AIZEの導入事例の解説があり、画像認識技術が様々な形で社会に実装されていることが伝わったかと思えます。

参加者アンケートのご回答では、「参考になった」「大変参考になった」が合計で**100%**と、ご満足いただけたようです。参加目的については、「DX推進の為」「AI活用推進の為」が合計29%、「顔認証技術の活用を検討する為」が18.5%と、DX推進への流れを感じるとともに、顔認証技術の活用がビジネス現場においても浸透してきていると改めて認識しました。

ご参加された皆様にはお礼申し上げます。

そして、**第3回 AI 講演会の開催が決定いたしました**。3月10日（水）18：30からのスタートです。現地+オンラインで開催いたします。 詳細は次回のメルマガにてお知らせいたします。

編集後記

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、私たちの生活にも多大な影響が出ています。今回、コロナ禍におけるバレンタインについてをご紹介させていただきましたが、私たちの生活だけでなく、意外なところにも影響が広がっています。

これまでの常識が通用しない部分も出てくるかと思いますが、変化も楽しみながら乗り越えていきましょう！

引き続き、トリプルマガジンをどうぞよろしくお願いいたします。
